

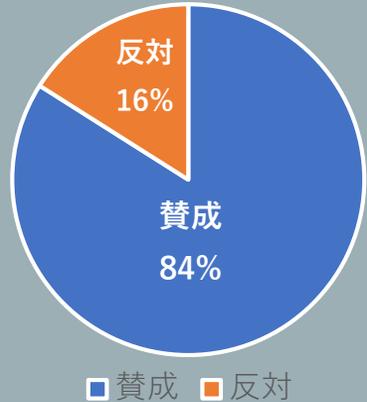
安楽死について

■安楽死とは？

【積極的安楽死】 医師などが患者に致死薬を注射することなどによって患者の命を直接的に終わらせること。
※対に消極的安楽死が存在する。こちらは延命治療を中止するもの。

【医師自殺幫助】 医師が薬物を処方したり提供したりすることで、患者が自殺するのを助けること。

アンケート集計結果



賛成意見

- ・死ぬときは楽に死にたいから
- ・生きる権利があるなら死ぬ権利があっていい
- ・苦しむ人を減らすために制度化していくべき

反対意見

- ・治療がつらくて本人が強く望んでいても、家族の身にしてみれば賛成できない
- ・痛くても苦しくても少しでも家族と長く過ごしたい
- ・完治する希望があれば頑張る

安楽死の問題点

- ・安楽死法を利用した、本人の意思に反する殺人の横行が心配される
- ・自殺幫助との線引きが曖昧になると、自殺者が増加する危険性がある

問題点を解決するためには

- ・安楽死法を利用した、本人の意思に反する殺人の横行が心配される
- ・医師は、要求が自発的で十分に考慮されているかどうかを医師が判断できるように、患者と十分に密接な関係を持つておる、医師は独立した視点で少なくとも1人の他の医師に相談する必要がある。最後に、安楽死は質の高い医療行為に従って実施されるべきだ。

問題点を解決するためには

- ・自殺幫助との線引きが曖昧になると、自殺者が増加する危険性がある
- ・安楽死は、難病に苦しんでいて死にかけている患者にのみ行うことができる。いわゆる難病とは、現代医学では救えない病気を指す。そして、自殺傾向のある平均的な患者ではありません。また、病院は、エラーを最小限に抑えるために、患者を「不治」および「ほぼ死にかけている」と診断するための倫理委員会を設置する必要がある。

安楽死容認国では安楽死をどのように施行しているのだろうか？

安楽死容認国に做う

安楽死容認国では一体どのような施策が行われているのだろうか？

① 積極的安楽死のみ
② 積極的安楽死のみ
③ 両方
④ 積極的安楽死は国内のみ

安楽死容認国の法整備は

- ・申請には長期間の多大なプロセスを踏む
- ・2人以上の医師により確認を行う
- ・患者の意思について念入りな確認を行う
- ・要請撤回の機会がある
- ・安楽死施行後も確認資料の提出が必須 etc...

結論

まず我々は認識を変えないといけない。

- ・安楽死は殺人？
- ・非人道的？

欧米諸国の施策では、安楽死とはあくまで医療的手段であり、心を救う為のものである。

その為、度重なる審査と手続きがあり、最後まで本人の意思が尊重される。

安楽死は末期患者を救う手段の一つに過ぎない。

医師の判断基準は？

- ・主治医は、患者の疾患が末期であるか、判断能力があるか、自発的に要請しているかを判断する
- ・診断に関する医学的確認、患者の判断能力や要請の自発性の判断のために、患者を別の医師に照会する etc...

判断基準を満たせる！

- ・患者に、診断と予後、処方される薬を服用する場合に考えられるリスクや推定される結果、快適さを保つケアやホスピスケア、疼痛管理などの実現可能な代替手段を説明する
- ※判断に従い、良心的に関わったことに対して医師は、いかなる民事、刑事、職業上の懲戒処分に科されない



日本における移民の受け入れと持続的な経済成長及び共生の問題

移民の受け入れメリット

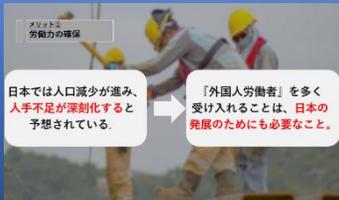
メリット①

労働力の確保

メリット①
労働力の確保

日本では人口減少が進み、人手不足が深刻化すると予想されている。

「外国人労働者」を多く受け入れることは、日本の発展のためにも必要なこと。



メリット②

グローバル化の促進

メリット②
グローバル化の促進

移民の受け入れ → 海外でのビジネスチャンスがUP → 海外企業に精通した人材の増加

グローバル化が促進される



メリット③

イノベーションの創出

メリット③
イノベーションの創出

移民の受け入れ → 新たなビジネスや文化が創出される

「New Idea!」

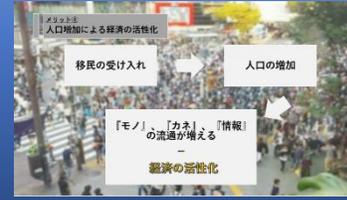


メリット④

人口増加による経済の活性化

メリット④
人口増加による経済の活性化

移民の受け入れ → 人口の増加 → 『モノ』、『カネ』、『情報』の流通が増える → 経済の活性化



メリット⑤

多様性のある社会の実現

メリット⑤
多様性のある社会の実現

移民の増加 → 新しい文化が取り込まれる → 多様性のある豊かな社会が実現できる



問題点と解決案

不法移民 → 医療援助制度の厳格化、政府の保護。
治安の悪化 → 日本語取得の機会を増やす。
社会保障費の増大 → 高所得者の年金の減額、病気の自己負担率を上げる。

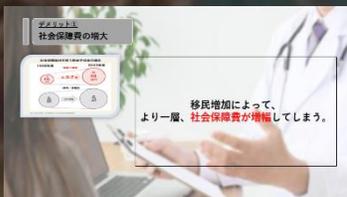
移民の受け入れデメリット

デメリット①

社会保障費の増大

デメリット①
社会保障費の増大

移民増加によって、より一層、社会保障費が増幅してしまう。

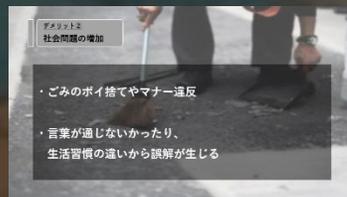


デメリット②

社会問題の増加

デメリット②
社会問題の増加

- ごみのポイ捨てやマナー違反
- 言葉が通じなかったり、生活習慣の違いから誤解が生じる

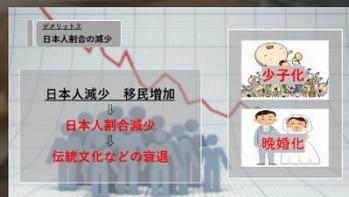


デメリット③

日本人割合の減少

デメリット③
日本人割合の減少

日本人減少 移民増加 → 日本人割合減少 → 少子化、晩婚化 → 伝統文化などの衰退



海外と日本の移民受け入れ実例

カナダ

- 永住が基本
- 能力を見込まれて移民する
- ポイント制(学歴・スペックなどで計算)

日本

- 在留期限の制限が基本
- 能力を見込まれて移民する
- 資格や実技試験を導入



海藻プラスチックとは…
タンパク質由来で僅か一か月ほどで自然に帰る！



海藻プラスチックのメリット/デメリット

メリット

- ・プラスチックの削減
- ・食べることが出来る
- ・自然の環境で分解することが出来る

デメリット

- ・持ち運びがしにくい
- ・耐久性に欠ける



どんなデメリットがメリットに変わるのか。

・すぐに分解されてしまう
↓
普段からすぐに捨てるもの

・耐久性が低い
↓
プラスチックほど耐久性が必要のないもの

海藻プラスチックに変えてもよいもの

- ・お菓子袋の中身
- ・飴の袋
- ・インスタントラーメン
- ・ゼリー



個包装・内袋のプラごみ減+食べるのが簡単に！！

丸ごと食べちゃっていいの！？ 海藻プラスチックのデメリットをメリットに！

プラスチックごみランキング
1位 食品包装材・容器 31.4%

海藻プラスチックの使いどころ

すぐに捨てられてしまうプラスチックの代用品

耐久性に欠けることを生かせるもの

包装の中の包装

個包装に注目した理由

小分けの袋は便利だが正直すぐに捨ててしまう。そのため、小分け袋を海藻プラスチックに変えることで、そのまま食べることや、捨てるがあっても、自然に分解ができる。

海藻プラスチックのデメリットでもある耐久性の低さを生かしてすぐに小分け袋から取り出せると言う。

他の海藻プラスチックの可能性

・農業用マルチフィルム

他の海藻プラスチックに変えられそうな物として、マルチフィルムがある。既に生分解性の物はあるが、海藻プラスチック製の物はまだない為、もし開発されれば、海藻プラスチックの新たな使い道が増えるかもしれない。



まとめ

・海藻プラスチックのメリットだけではなく、デメリットまでも上手に活用することで、プラスチックごみの減少につながると考えた。

・プラスチックをすべて海藻プラスチックに変えるのではなく、適材適所で活用することも大切だと考えた。